

富山地方鉄道鉄道線のあり方検討会 第2回不二越上滝線分科会 議事概要

1. 日時・場所

日時：令和7年9月1日（木）15：35～16：25

場所：ToyamaSakura ビル 5階 大会議室

2. 出席者

所 属	役 職	氏 名	備 考
富山県	知 事	新田 八朗	
富山市	市 長	藤井 裕久	
立山町	町 長	舟橋 貴之	代理出席： 立山町副町長 杉田尚美
富山地方鉄道(株)	代表取締役社長	中田 邦彦	
国土交通省 北陸信越運輸局	鉄道部長	秋山 敬介	

3. 議事概要

(1) 現在の検討状況について

- ・不二越上滝線の利用状況や沿線住民へのアンケート調査の結果について報告。

＜利用状況分析（OD（起終点）分析）結果＞

主な利用は電鉄富山駅へのアクセスと、沿線高校への通学利用が多い。

＜潜在的利用需要の推察＞

沿線人口に比して利用率が低く、運行本数などサービスレベルの向上により、利用者を掘り起こせるポテンシャルがある。

＜アンケート調査結果（Web 回答分）＞

アンケート結果では約9割が路線を必要と考えており、サービス向上のための行政負担にも肯定的である。利用促進には運賃体系の見直し等が重要と回答。

(2) ローカル鉄道の再構築について

- ・輸送密度が一定基準以下の路線を対象に、計画認定を通じて社会資本整備総合交付金などの重点的な支援が活用可能になることや、北陸鉄道や、のと鉄道での再構築事例を紹介。

(3) 今後の検討スケジュールについて

- ・次回（第3回）分科会を10月頃を開催し、今後の調査結果を踏まえて事業構造や具体的な施策を協議し、第4回以降で実施計画素案の取りまとめを目指す。

(4) 意見交換

- ・今回より北陸信越運輸局や富山地方鉄道㈱を加え、鉄道事業再構築事業の実施に向けた検討を進めていく。
- ・事業構造の変更については、富山市の検討状況を踏まえ、持続可能な事業スキームとなるよう、幅広く対応を検討する必要がある。
- ・具体的な利便性・快適性の向上策、整備費の内容、富山市と立山町、県との負担の割合などについて、早く協議を行っていくことが早期の計画とりまとめにつながる。
- ・不二越上滝線は立山線とセットで考えて行く必要があると思っている。
- ・運賃について、不二越上滝線では引き下げ、立山線では引き上げの方向で議論されており、一つの会社で、路線により運賃が異なることは課題である。